

～図書館だより～

R7年1月号

前川莉奈先生のお薦め本

『むかしむかしあるところに、

死体がありました。』

青柳碧人

あなたは「日本昔ばなし」を知っていますか？

この小説では、なじみのある昔ばなしのある昔ばなしがまさかのミステリに！

今回は最初の話である「一寸法師の不在証明」を少し紹介しよう。

鬼に襲われた右大臣の娘春姫を救った一寸法師。倒した鬼からもらった「打ち出の小槌」で体を大きくし、褒美として春姫との結婚が決まり、堀川少将となりました。

婚姻を祝う宴の最中、門番にあたっていた右大臣の家臣江口は、黒三日月と名乗る男と出会います。男は、冬吉という男が一寸ほどの隙間があいているだけの密室で殺されたと、そして、その犯人が堀川少将であると語ります。

一寸法師とは、どのような男であるのか。冬吉はどのような方法で殺されたのか。この続きは実際に読んで確かめてください！（ちなみに私のお気に入りの話は「つるの倒叙がえし」です）





『ナカスイ！ 海なし県の水産列車』

村崎なぎこ

『ナカスイ！』シリーズ三部作の完結編です。鈴木さくらは中学時代「歩く平均値」とよばれた女の子。「普通」からぬけだしたいと、海のない県でただひとつの水産高校に入学します。ユニークな生徒ばかりでショックを受けますが、仲間と共に「ご当地! おいしい甲子園」に挑むのが『海なし県の水産高校』。『海なし県の海洋実習』では恋をしたり、百貨店フェアに店を出し売り上げ第1位をねらったり。

『海なし県の水産列車』では、初恋の青年から告白され、彼にふさわしく強くなるため生徒会長への立候補を決心。さらには観光列車「ナカスイ水産列車」を計画。さて、卒業までに強くなれるでしょうか？ 青春ドラマが好きな人におすすめ！

『賊徒、暁に千里を奔る』 羽生飛鳥

たちばなのなりすえ 橘 成季という人物がさまざまな物語を書き残した『ここんちよもんじゅう古今著聞集』という本があります。この中に登場することの小殿という強盗の物語を元にした短編集です。

時は鎌倉時代。橘成季、運慶（鎌倉時代を代表する彫刻家）、そして「明けの明星」と名のる若い僧が、ある老人をおとすれます。じつはこの老人こそ、若い頃は伝説の盗賊として天下に名をとどろかせ、今はひっそりくらす小殿。小殿は三人に、自分がかつてやった大仕事を話します。かたく守られた貴族の館から、どうやって宝を盗んだのか？ 歴史にのこる悲劇の姫君の運命とどうかかわりあったのか？ ついには上皇（位をゆずった元天皇）までが小殿の話を聞きたいと言い出すしまつ。

鎌倉時代のアルセーヌ・ルパンともいうべき盗賊の物語をお楽しみください。